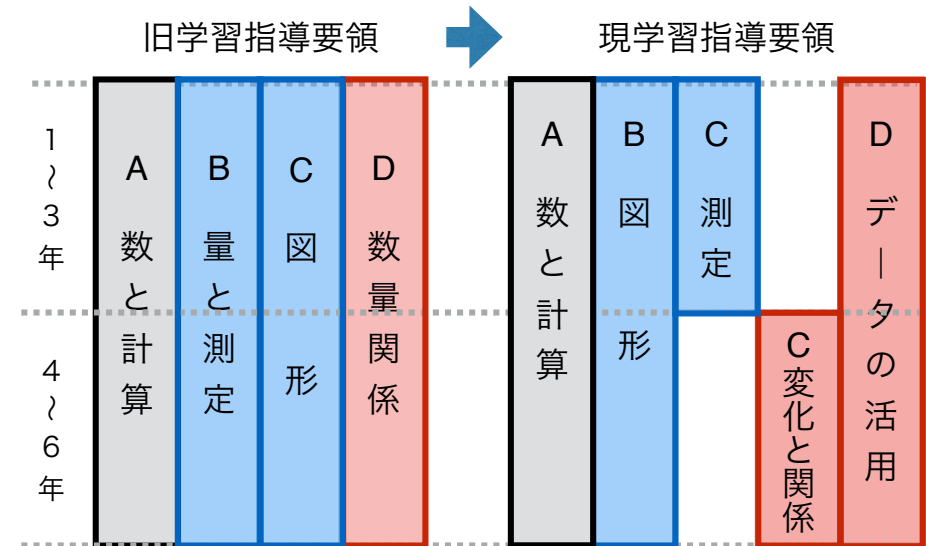


測定：旧低学年「量と測定」領域

測定（前半） （旧「量と測定」低学年）



測定：量の把握とその方法の理解

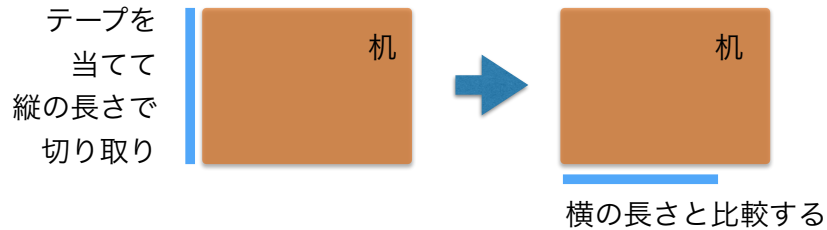
教科書 p.35

身の回りにある二つのものを比較する場合、比較対象となるものの属性（例えば、長さや重さなど）に着目し、その属性について数値化して表すことがある。算数科で学ぶ量の把握における測定とは、幾つかのものを比較する必要から、ものの特徴を捉えてそれを測り取り、数値化して表すことである。この意味で、量の把握における測定とは、ものの属性に着目し、単位を用いて量を捉え、その単位で測り取った数値に対応させることである。例えば、ものの重さは、「重さ」という属性で単位とする大きさを決めて測定し数値化できる。

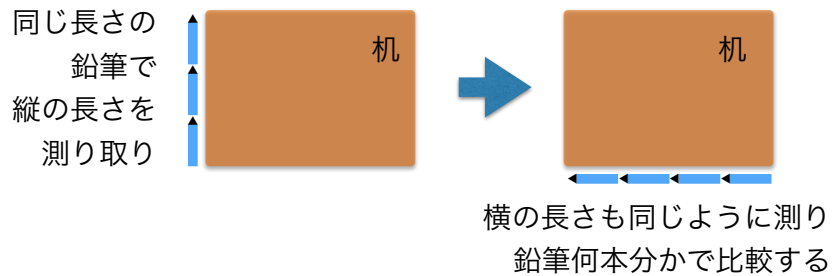
量

- 身のまわりの事物・事象の諸属性のうち、「大きさ」という観点に関わって得られる概念の総称
- 物の個数、長さ、時間、体積（かさ）、速さ、等々
- 量概念の形成は、ある種の「大きさ」を比較することから始め、その大きさを「数値化」して（そして、その多くは「基準量（単位量）」を定めて測定することで）比較するのが基本
- このことから、量の4段階指導（直接比較→間接比較→任意単位による測定→普遍単位による測定）が出てくる

間接比較の例



任意単位による測定の例



量感

- 約 150cm^2 の面積のものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 切手1枚の面積
- 年賀はがき1枚の面積
- 算数の教科書1冊の表紙の面積
- 教室1部屋のゆかの面積

平成20年度全国学力・学習状況調査 算数A問題 6(2)

量感

- 下のはがきの面積は約何 cm^2 ですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 約 50cm^2
- 約 150cm^2
- 約 450cm^2
- 約 1350cm^2

郵便はがき

□□□□□□

□□□□

平成24年度全国学力・学習状況調査 算数A問題 5(1)